

すみっコぐらし™

すみっコぐらし あむあむたまご



TAKARA TOMY®

対象年齢
6才以上

保護者の方と
お読みください

乾電池は使用しません。
NO BATTERIES REQUIRED.

©2022 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

取り扱い説明書 & あみぐるみなどの作り方

この度は、タカラトミー「すみっコぐらし あむあむたまご」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。
また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。



警告（けいこく）

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意（ちゅうい）

- 毛糸を首にかけてぶざけたり、乱暴に遊ぶはしないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪の毛の毛や衣服などををはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

<使用上のお願い> ○ご使用の前に、取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。○はさみを使うときは十分注意してください。○プラスチック袋は包装材ですので開封後はすぐに捨ててください。

- パッケージのイラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。
- セット内容以外の毛糸とフェルトは内容物に含まれておりませんのでご了承ください。

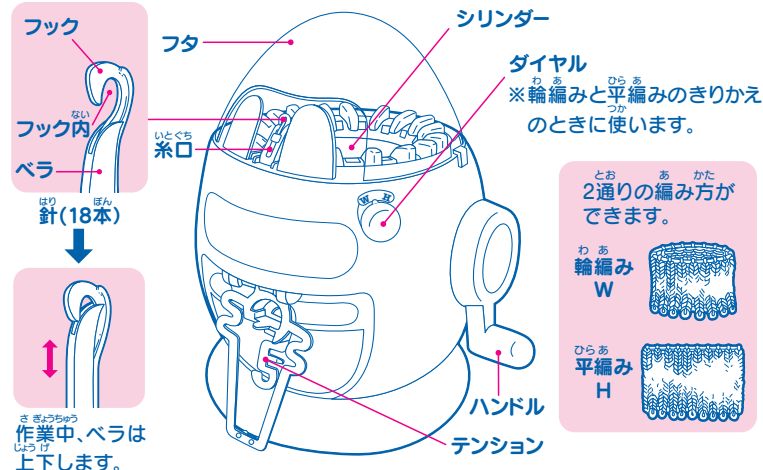
目次

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ● 編みはじめ前の準備……………P1 | ● 平編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方 P5 |
| ● 輪編みの編み方……………P2 | ● ボンボンの作り方……………P5 |
| ● 編み終わったら……………P2 | ● みにつコボンボンマスコットの作り方…P6 |
| ● 輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方 P3 | ● すみっコぐらしのあみぐるみマスコットの作り方 P7 |
| ● 平編みの編み方……………P4 | ● フェルトパーツ……………P14 |

セット内容

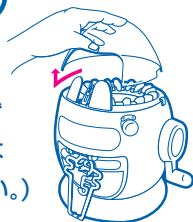
- 本体……………1コ
- テンション……………1コ
- ボンボン糸巻き……………1コ
- 毛糸ガイド……………1コ
- 毛糸針……………1本
- 毛糸（茶、白、クリーム、水色）各1コ
- フェルト（10色）……………各1枚
- 洋服（しろくま・とかげ・ねこ）3枚
- 花かんむり（しろくま・とかげ・ねこ）3枚
- 綿……………1コ
- 取り扱い説明書（本書）……………1冊

すみっコぐらし あむあむたまごの各部の名前



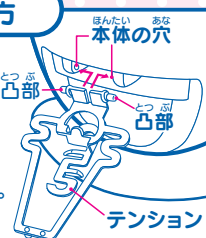
フタのはずし方

フタを左（反時計回り）にまわし、もちあげてはずします。（セットするときは逆の手順で行ってください。）



テンションのつけ方

図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。



編みはじめる前の準備

※セット内容の毛糸は「すみっくぐらしのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

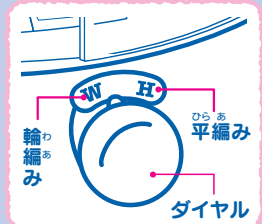
毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐして入れましょう。



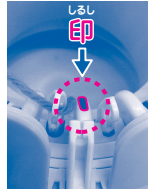
毛糸をセットする前に

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



油性ペンで印をつけよう!

- ①ダイヤルを平編み(H)に合わせます。
- ②ハンドルを後ろまわりに止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこしましょう。

毛糸をセットしましょう

- ① シリンダーの中へ下につくくらい毛糸を垂らします。(約20cm)

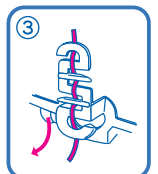
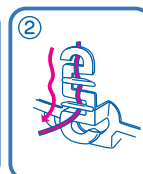
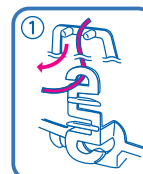
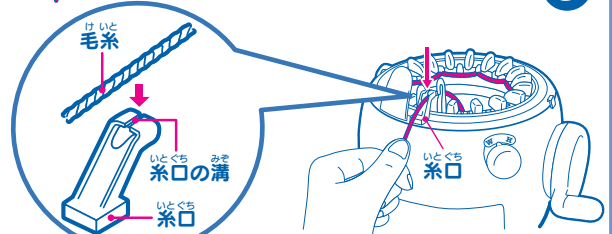
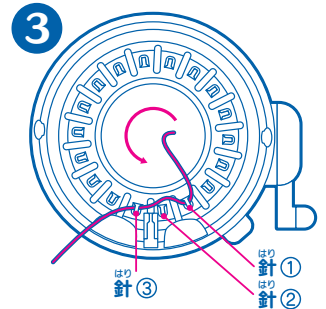
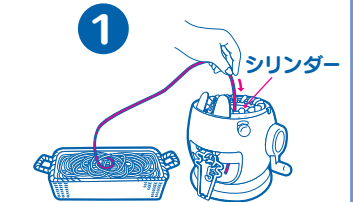
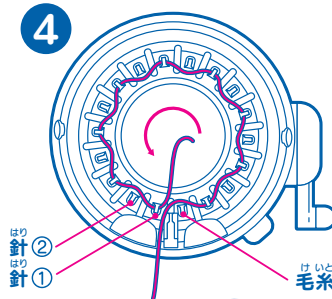
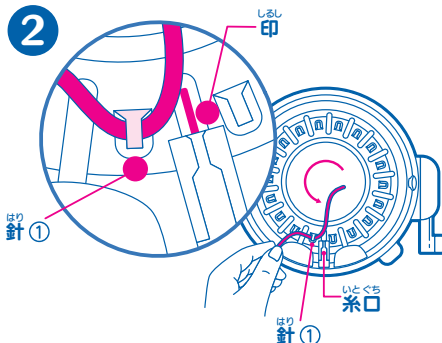
- ② 糸口に印を合わせ、印の左側針①のフック内に毛糸を通します。毛糸が外れないようにハンドルを奥(前まわり)に少しまわします。

- ③ ゆっくりハンドルを奥(前まわり)にまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。

- ④ 同じように毛糸を、フックの前、後ろと動かしながら一周させます。正しく毛糸がかかっていれば、毛糸は最後の針の後ろを通っています。

- ⑤ 糸口の溝に、上から毛糸を通します。

- ⑥ テンションを上を持ち上げ、①～③の順に毛糸を通し、フタをセットして準備完了です。



輪編みの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由



※ダイヤルが輪編み(W)になっていることを確認しましょう。

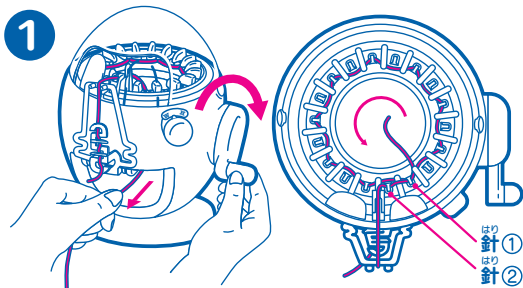
- 1 ハンドルをまわして編んでいきます。
輪編みのときはいつも、前まわりにまわしてください。
最初の2周は中にたらしした毛糸を軽く引っばって、
ハンドルをまわしてください。

注意：ハンドルは乱暴にまわさないでください。

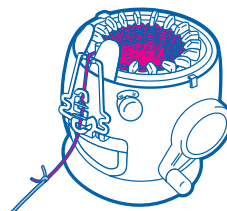
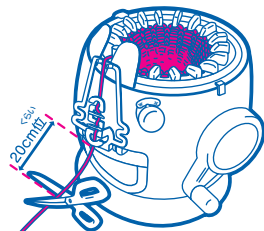
：ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。

：本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。

：ハンドルを戻したり後ろまわりにまわさないでください。

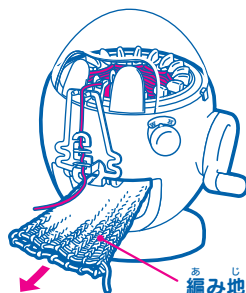


毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは…



図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。
毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

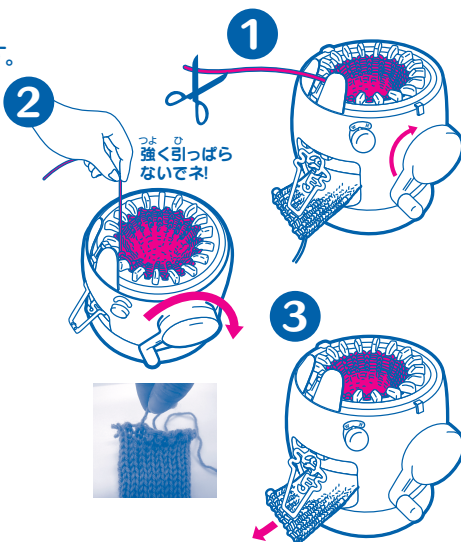
- 2 編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。
編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。
(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる…など)

編み終わったら

- 1 テンション・糸口から毛糸ははずします。
まず、20cmぐらい残して毛糸を切ります。
- 2 毛糸をもって、ハンドルを前まわりにまわし、シリンダーを1周させます。
- 3 編みあがった作品は、本体の下に取り出し口からそとに取り出します。
編み目がほどけないように、注意しましょう。
- 4 編み終わりの毛糸はそのまま残しておきます。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあったら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

輪編みの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱって、1段(1周)ほどいってください。
※長すぎるときは、1段ほどいた後、約20cmのところで切ってください。

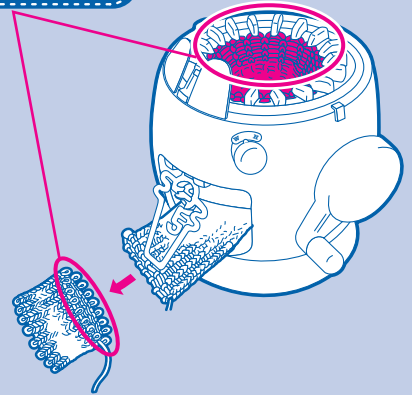


針に毛糸を通しやすくするために…

セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。
通したらセロハンテープははずしましょう。



編み終わり



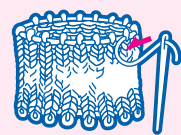
① 残り糸に毛糸針を通します。



② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。



③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合

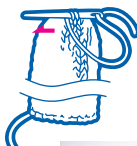


しぼらない場合



① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。

② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



③ 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



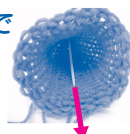
<残った毛糸をかくす場合>

④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



⑤ 内側から通した毛糸を引っぱります。

※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。

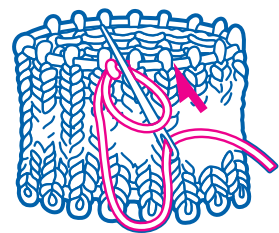


毛糸針を引っぱる

① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



② 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



輪編みの編みはじめのしまつの仕方

★注意：編み地に1周通す必要はありません。

しぼる場合

- 1 残った毛糸をゆっくりと引っぱり、穴をふさぎます。
- 2 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- 3 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。

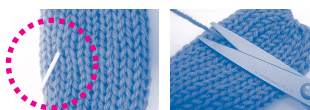


<残った毛糸をかくす場合>

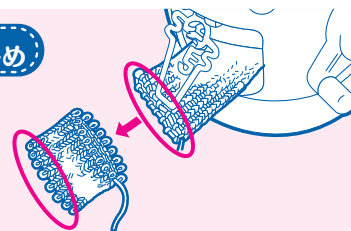
- 4 てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- 5 内側から通した毛糸を引っぱります。
※余分な毛糸ははさみで切るか、中に入れます。

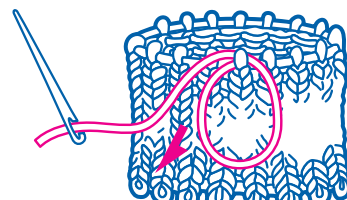


編みはじめ

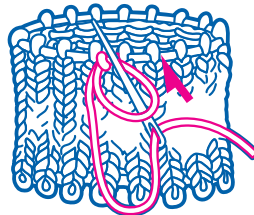


しぼらない場合

- 1 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- 2 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



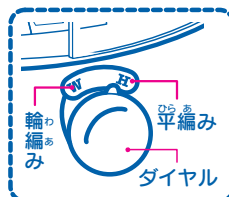
平編みの編み方

平編みの仕上がり

編み地の幅約10cm 長さは自由



- 1 フタをはずして、ダイヤルを平編み(H)に合わせます。



- 2 ハンドルを後ろまわりに止まるまでまわします。

★注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

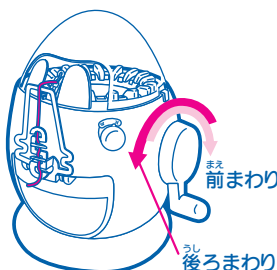
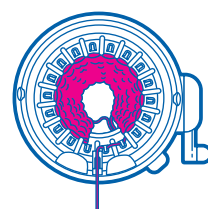
- 3 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、1ページ<毛糸をセットしよう>の手順を見てセットしましょう。(セット時は前まわりにハンドルをゆっくりまわします。)

- 4 平編みはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを後ろまわりにまわし、止まったらまた前まわりにまわします。この作業をくり返します。

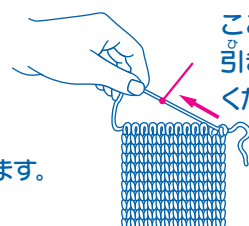
※1列目は内側に垂らした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

★注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- 5 すきな段数分編めたら、ダイヤルを輪編み(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページの編み終わったらと同じ方法ではずしてね。



編み始めのこの毛糸を引き抜いてください。

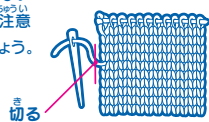
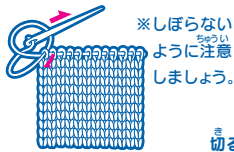
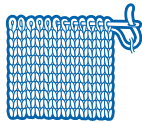


平編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平編みの編み終わりのしまつの仕方

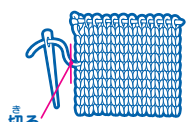
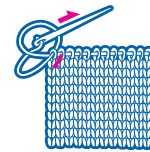
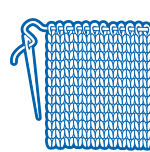
★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通して結びます。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を下から通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



平編みの編みはじめのしまつの仕方

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を下から通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



平編みで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

- ① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながらとじていきます。

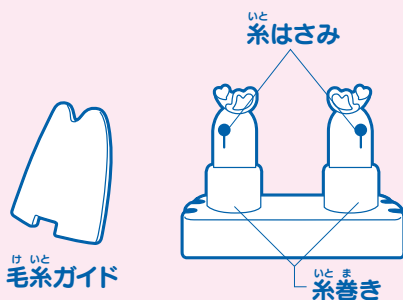


- ② 毛糸がつれないように引っぱりとじます。



ポンポンの作り方

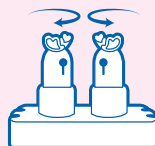
ポンポン糸巻き



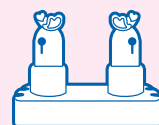
ポンポンの大きさがえらべます

糸巻きをまわして、間隔を変えるとポンポンの大きさを変わります。

小 約5.5cmのポンポン

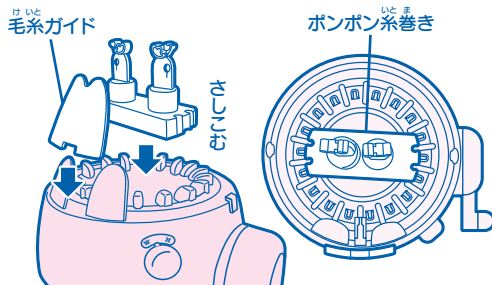


大 約6.5cmのポンポン



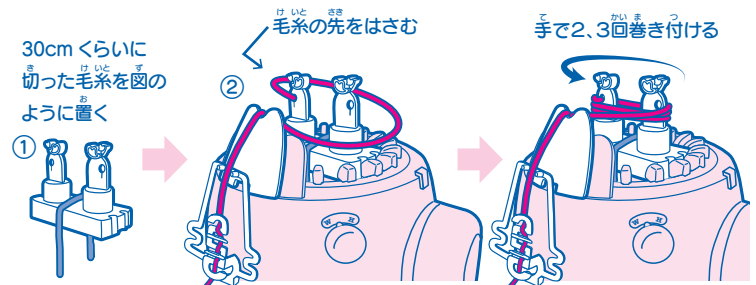
1 ポンポン糸巻きをセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪編みにします。次にポンポン糸巻きをシリンドラのツメの間にさしこみ、毛糸ガイドを本体にとりつけます。



2 毛糸をセットします

- ① 30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。
- ② ①とは別の毛糸の先を糸はさみの穴に入れ、下にさげて毛糸を固定したあと、手で2～3回巻き付ます。次に毛糸ガイドを通して、テンションに毛糸を通し、フタをします。

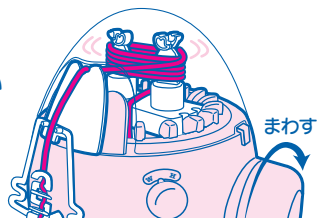


※ポンポン糸巻きの上下を間違えないようにしてください。

フタをしないと毛糸がうまく巻けません。

3 毛糸を巻き付けます

ハンドルをくるくるまわして、ポンポン糸巻きに毛糸を巻き付けていきます。ハンドルを50～100回程まわし、適量の毛糸を巻き付けてください。終わったら長い糸を切り、残りをポンポン糸巻きに手で巻きつけます。

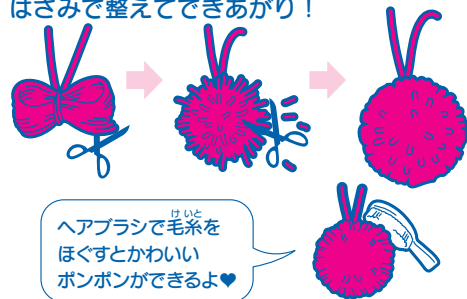


4 毛糸を結びます

2でセットしておいた毛糸で、巻き終わった毛糸のたばの中央を軽く結び、糸巻きを回転させてとりはずします。とりはずしてから、かたく二度結びしておきます。

5 形を整えます

はさみで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたら、つくりたい大きさに毛糸をはさみで整えてできあがり！



ヘアブラシで毛糸をほぐすとかわいいポンポンができるよ♡

毛束の毛量が少ないと思ったら2つ重ねてから球にするといいかも♡

みにっこのポンポンマスコットのつくり方

用意する物

☆市販の物 …… ●毛糸 (各みにっこの体と同じ色) ●フェルト ●ボンド ●はさみ

- 手と足のつくりかたは10ページを参考につくってね。
- フェルトパーツは市販の毛糸で作くれるみにっこのポンポンマスコットの型紙です。
- この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。● はさみで切る際には十分注意してください。

フェルトパーツ

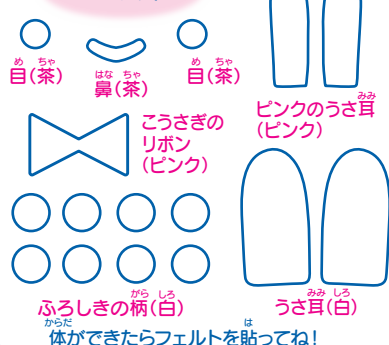
- たぴおか
- えびふらいのしっぽ
- ふろしき



- ほこり
- ざっそう



- こうさぎ



えびふらいのしっぽ



- ①黄色の毛糸でポンポンをつくります。
- ②体と同じ色の手と足をつくり縫い付けます。
- ③赤の毛糸をくさり編みしてえびのしっぽ部分を縫い付けます。

たぴおか



- ①つくりたいたぴおかの体の色と同じ毛糸でポンポンをつくります。
- ②体と同じ色の毛糸をくさり編みして手と足をつくり縫い付けます。

ざっそう



- ①黄緑の毛糸でポンポンをつくります。
- ②ざっそうの形に切ります。
- ③黄色の毛糸をくさり編みして足をつくり縫い付けます。

ほこり



- ①グレーの毛糸でポンポンをつくります。
- ②茶の毛糸で足をつくり縫い付けます。

ふろしき



- ①ピンクの毛糸でポンポンをつくります。
- ②ピンク毛糸で絞り部分をくさり編みして縫い付けます。

こうさぎ



- ①白い毛糸で2個のポンポンをつくり、2個の結び糸をしっかりと結びます。頭と胴のくびれを整えます。
- ②白い毛糸で、手と足、しっぽをくさり編みでつくり縫い付けます。

すみっこぐらしのあみぐるみマスコットの作り方

用意する物

☆セット内容… ●毛糸 ●フェルト(目・口・鼻・耳・お腹・からだの模様) ●毛糸針 ●綿
☆その他…………… ●ボンド ●はさみ ※とんかつ・ぺんぎん?をつくるときは、市販の材料を使ってください。

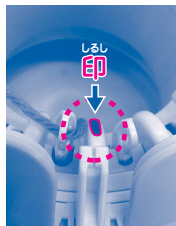
段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。

くわしい説明は1ページ

油性ペンで印をつけよう

を読んでください。



後処理をしやすいようにするために

編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、
つくり方に書かれている段数は1段多くなっています。
各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。
※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。
※編みはじめは約20cmを本体中央にたらしってください。

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

※セットした毛糸は段数に含まれません。

ねこのからだの作り方

ねこ (クリーム色の毛糸/輪編み)

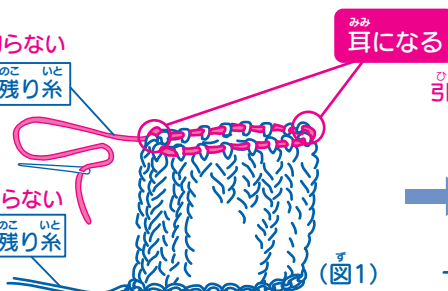
- ① ダイヤルを輪編みにして17段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- ② 残り糸を輪になっている編み目に1周通します。3ページの「輪編みの編み終わりのしまつの仕方」を参考にしてください。糸はしぼったり、結んだりせずに残します。
- ③ 編み終わりの糸を引っ張りながら、四角い編み地になるように整えます。糸はしぼったり、結んだりせずに残します。(図1)

※結ばない・切らない

編み終わりの残り糸

※結ばない・切らない

編みはじめの残り糸



引っ張る

★とじ方1

のこ残り糸を使って口をとじる

編み終わりの残り糸

※結ぶ・中に入れる

引っ張る

- ④ 編み終わりの残り糸を使って「★とじ方1」の方法で口をとじます。
- ⑤ とじ終わったら、耳になる両方の角を引っ張り、ねこの耳の先が、とがるように整えます。(図2) 残り糸は結んで中に入れます。

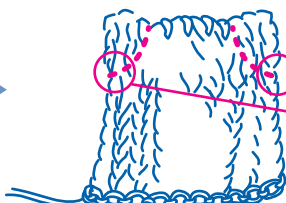
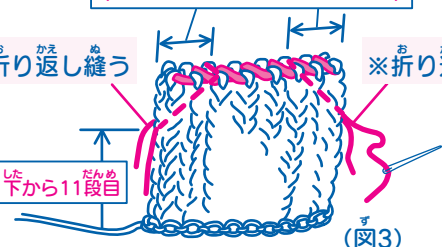
- ⑥ ねこの耳を作るため、別の糸で編み地の下から11段目から耳の角から2cmまで、ななめに縫います。(図3)

ねこは、耳の角から2cm
(♡しろくまは、耳の角から1cm)

※折り返し縫う

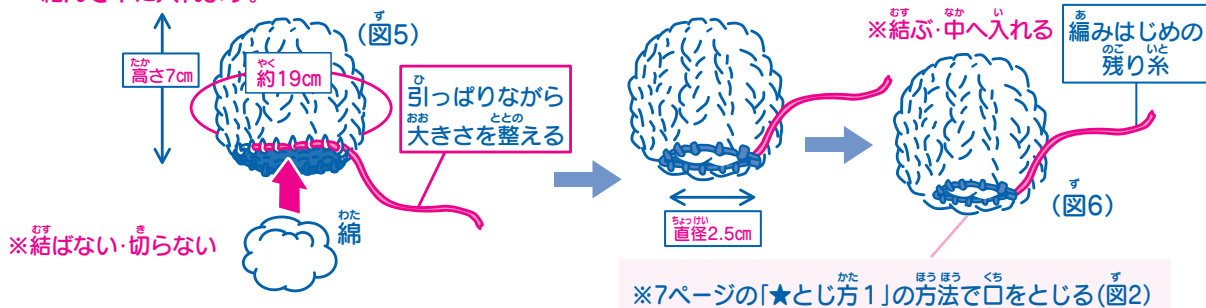
※折り返し縫う

下から11段目



糸はそれぞれ結び
編み地の中へ入れる

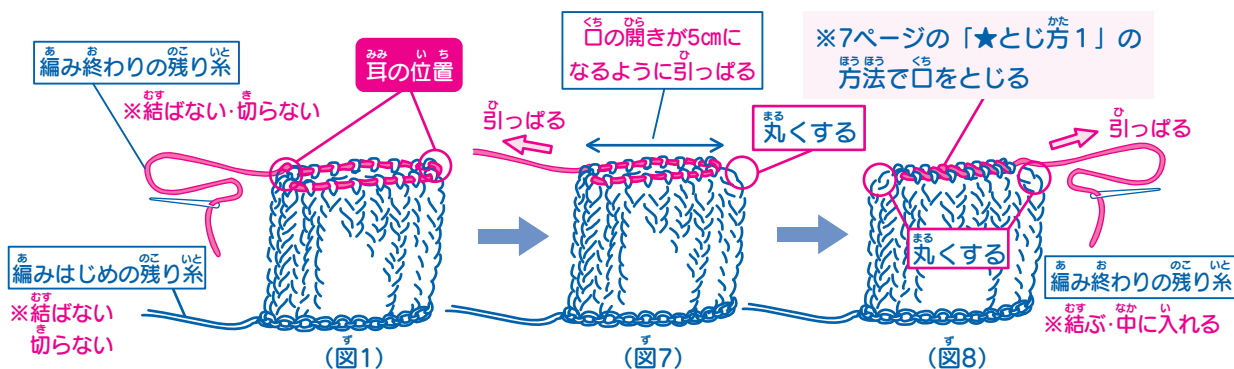
- ⑦ 編み地に綿を詰め、残り糸を引っ張りながら、からだの形の**高さ約7cm**・からだの**周り約19cm**に整えます。(図5)
- ⑧ 綿を詰めた口が直径2.5cmになるようにしぼり、(図6) 編みはじめの残り糸を使ってとじます。(★とじ方1) 残り糸は結んで中に入れます。



しろくまのからだのつくり方

しろくま (白の毛糸/輪編み)

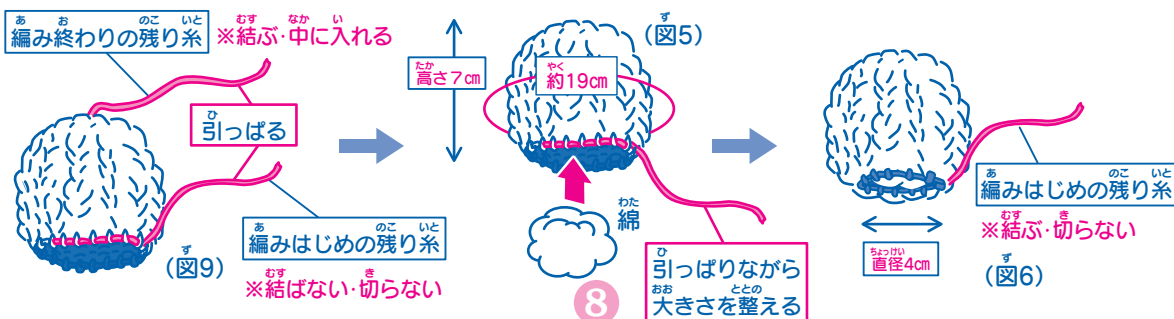
- ① ねこのからだのつくり方①～③までと同じ方法でつくります。(図1)
- ② たたんだ編み地の口の長さが**約5cm**になるまで編み終わりの糸を少しずつ引っ張り、**耳の位置を丸く**します。(図7)
- ③ 編み終わりの残り糸で7ページの「★とじ方1」の方法で口をとじます。残り糸は結ばず、残します。
- ④ 残り糸を少しずつ引っ掛けて、②で丸くした角と同じように**反対側の角も丸く**します。残り糸は結び中へ入れます。
- ⑤ ねこのからだのつくり方⑥の方法で耳の角から1cmまで縫います。
- ⑥ ねこのからだのつくり方⑦⑧と同じ方法で綿を詰め、しろくまのからだを仕上げます。



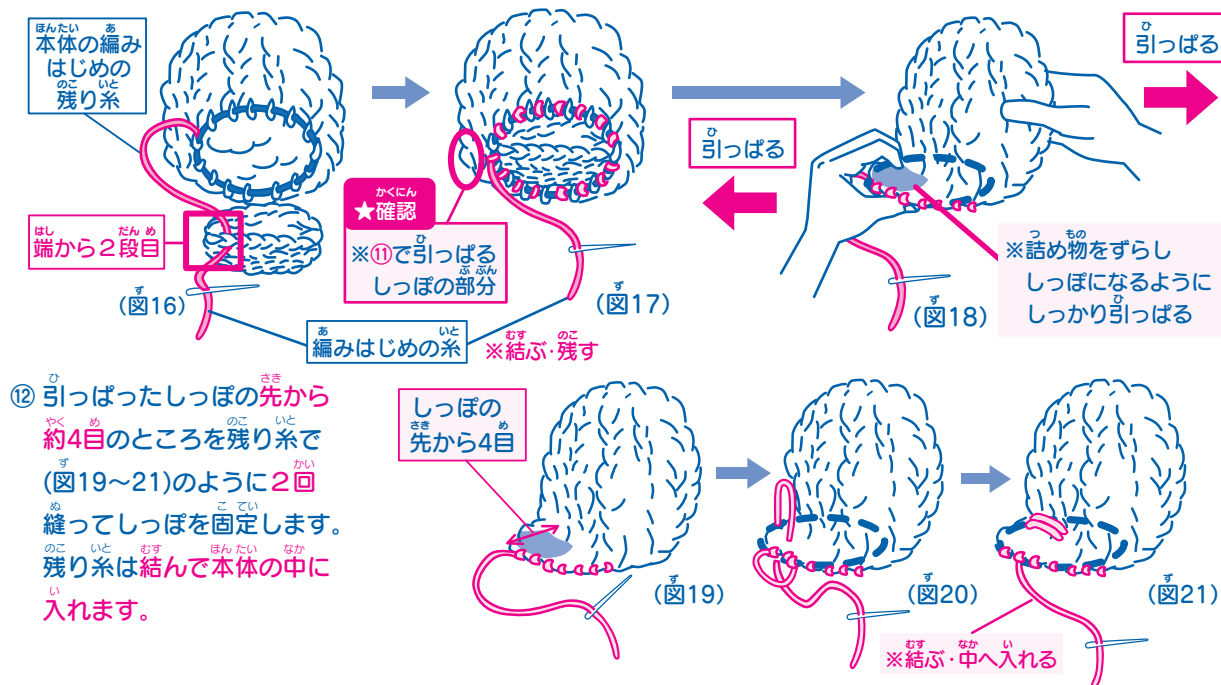
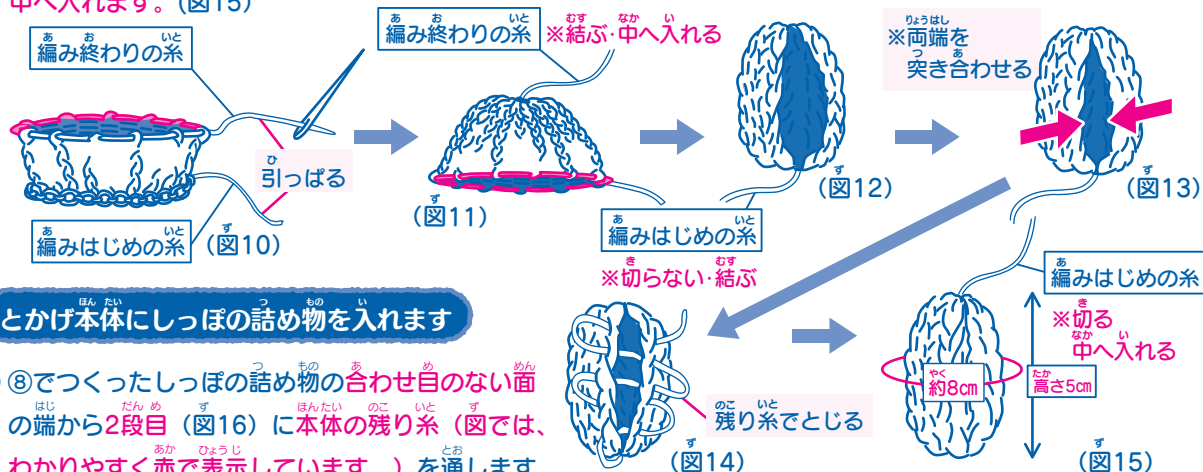
とかげのからだのつくり方

とかげ・しっぽの詰め物 (水色の毛糸/輪編み)

- ① ダイヤルを輪編みにして15段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどききます。
- ② とんかつ・ペンギン?のからだのつくり方②③と同じ方法でつくります。(図9)
- ③ 編み地に、綿を詰め、編み始めの残り糸を引っ張りながら、からだの**高さ約7cm**・からだの**周り約19cm**に整えます。(図5)
- ④ 綿を詰めた口を直径4cmになるようにしぼり、糸は結び残します。(図6)



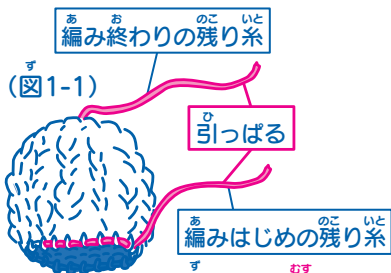
- ⑤ とかげのしっぽの詰め物をダイヤルを輪編みにして10段編みます。編み地を本体からはずし、1段ほどきます。
- ⑥ 3ページの「輪編みの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」でしまつします。(図10・11)
- ⑦ 編みははじめの残り糸も引っぱってしぼります。糸は結び残します。(図12)
- ⑧ 編み地の両端を突き合わせ(図13)残り糸で縫い合わせます。(図14)高さ5cm・編み地周り8cmに整え、糸は結んで中へ入れます。(図15)



とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方

とんかつ (茶の毛糸/輪編み) ペんぎん? (黄緑の毛糸/輪編み) ※市販の毛糸を使います。
※つくり方は同じです。

- ① ダイヤルを輪編みにしてぺんぎん?は16段、とんかつは15段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- ② 3ページの「輪編みの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」の方法でしまつします。(図1-1)
- ③ 編みははじめの残り糸も引っぱって、口の大きさが編み地の幅と同じぐらいになるようにしぼります。糸は結び残します。(図1-2)



(図1-1)

(図1-2) ※結ばない・切らない

- ④ 編み地に綿を詰め、残り糸を引っ張りながら、からだの形の
高さ約7cm・からだの周り約19cmに整えます。(図5)
- ⑤ 綿を詰めた口が直径2.5cmになるようにしぼり、(図6) 編みはじめの
残り糸を使ってとじます。(★とじ方1) 残り糸は結んで中に入れます。

手・足・しっぽのつくり方

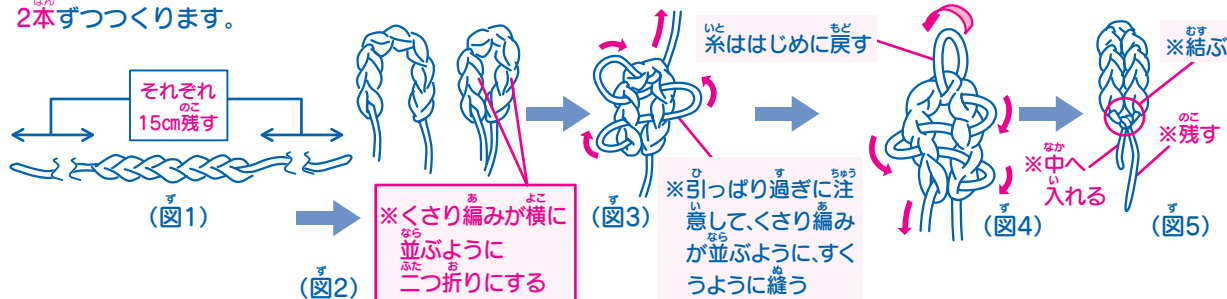
※毛糸の色はそれぞれの本体の色と同じです。くさり編みでつくります。

くさり編みのつくり方

- ① 人差し指の後ろから前に毛糸を通す。 ② 指を下からくるとまわして2回ねじる。 ③ 輪に親指に通す。 ④ 親指と人差し指の間に長い糸をかけて、かけた糸を引っぱる。
- ⑤ 引っぱった糸を人差し指をかけ両方の糸を引っ張り目の大きさを整える。 ⑥ 目の下を抑えながら③～⑤をくり返してつくとつくりやすい。
- この輪が「1目」
- 短い糸を持つ
- 1目は米粒ぐらいの大きさにするのがオススメ。

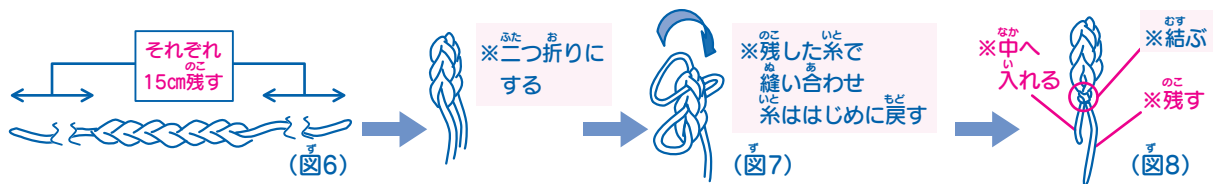
足/しろくま・ねこ・とんかつ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさり編み)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさり編みで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさり編みが並ぶように二つ折りにし(図2) 残した毛糸で引っ張り過ぎに注意しながら、となりあった、くさり編みをすくうように、縫い合わせます。(図3) 端まで縫い終わったら、糸をくさり編みの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図4)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさり編みの中へ入れます。長い方は残します。(図5) 同じものを2本ずつつくります。



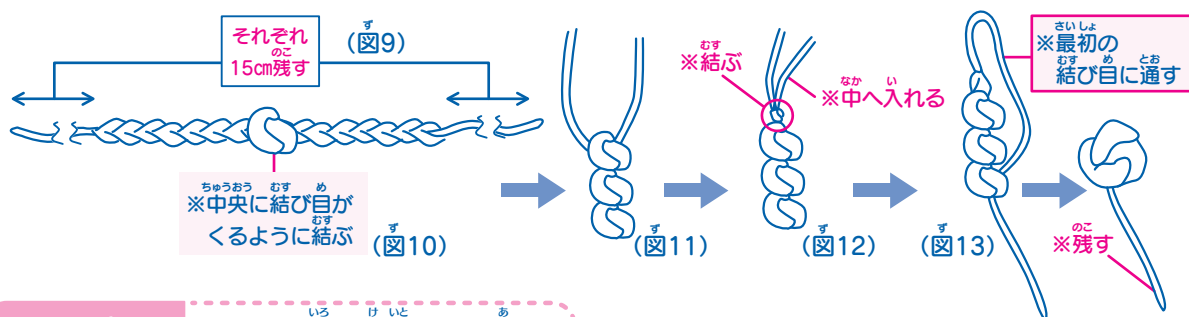
手/しろくま・ねこ・ぺんぎん?・とんかつ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさり編み)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさり編みで7目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図6)
- ② くさり編みを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさり編みの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図7)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさり編みの中へ入れます。長い方は残します。(図8) 同じものを2本ずつつくります。



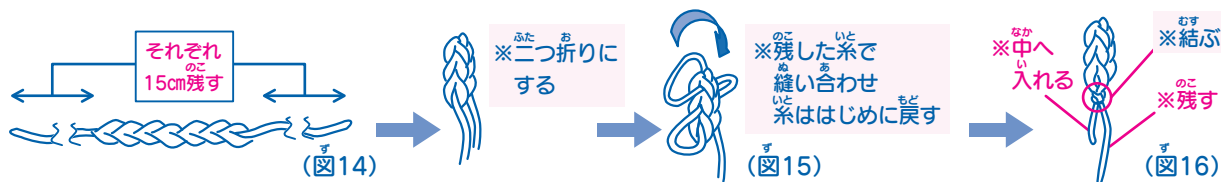
しっぽ/しろくま (白の毛糸/くさり編み)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさり編みで16目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図9)
- ② くさり編みのひもを(図10)のように結び目が中央にくるように結びます。同じようにあと2回結びます。(図11)
- ③ くさり編みの両端に残した糸を結び1本は、くさり編みの中へ入れます。(図12)
- ④ 残りのもう1本は最初の結び目に通し引っぱり、しろくまのしっぽをつくります。糸は切らずに残します。(図13)



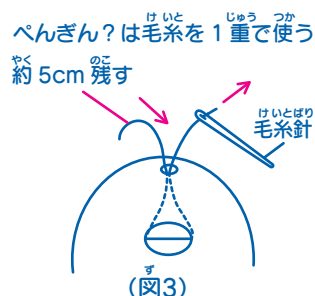
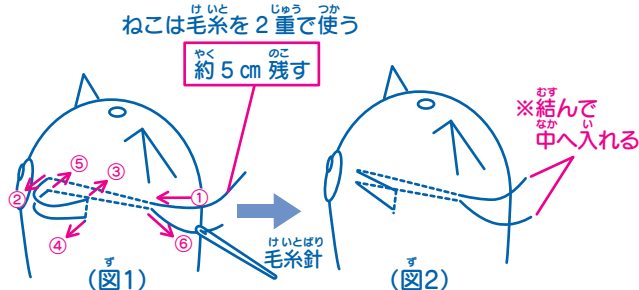
しっぽ/ねこ (クリーム色の毛糸/くさり編み)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさり編みで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図14)
- ② くさり編みを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさり編みの中へ通して、縫い始めに戻します。(図15)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさり編みの中へ入れます。長い方は残します。(図16)



ねこのひげ/ペンギン?のくちばし

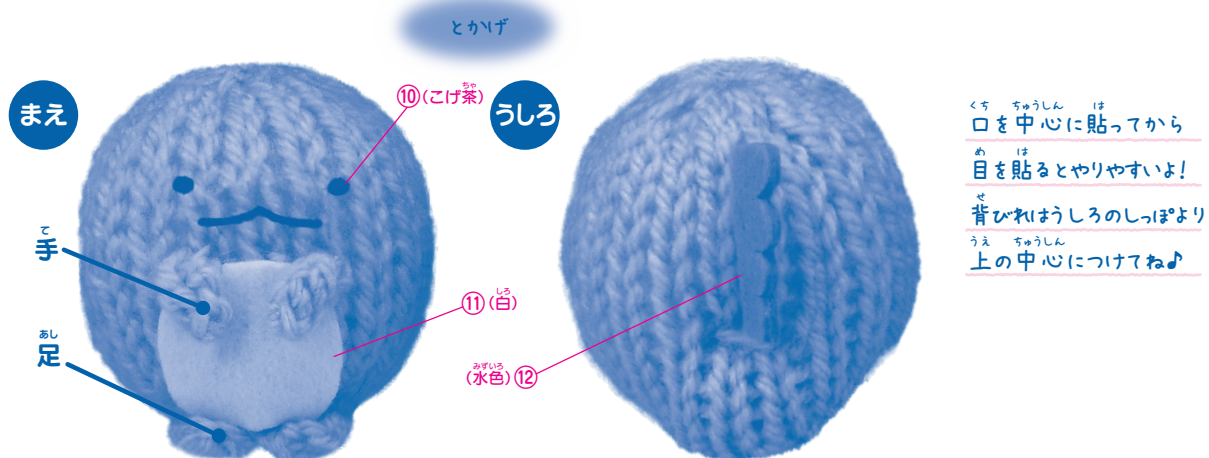
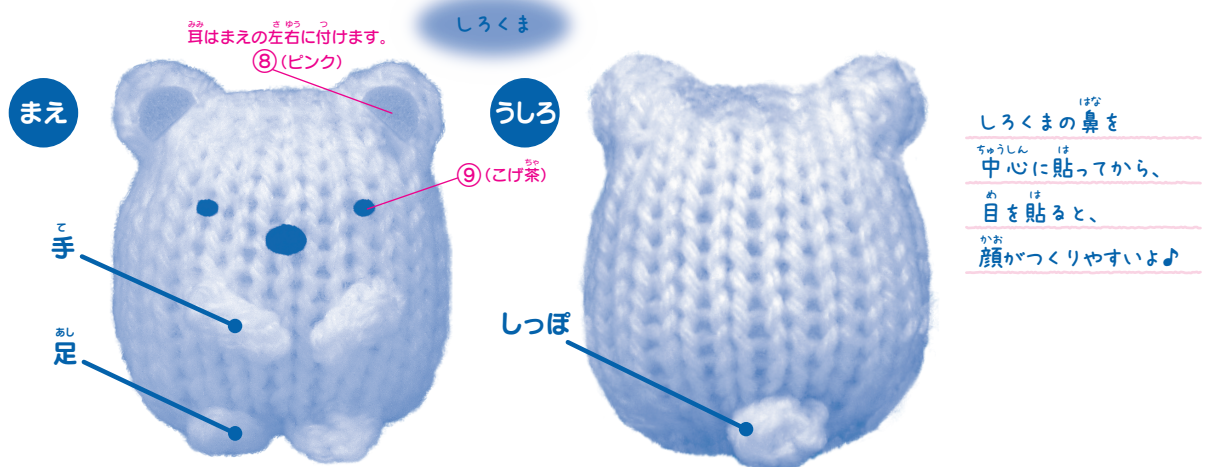
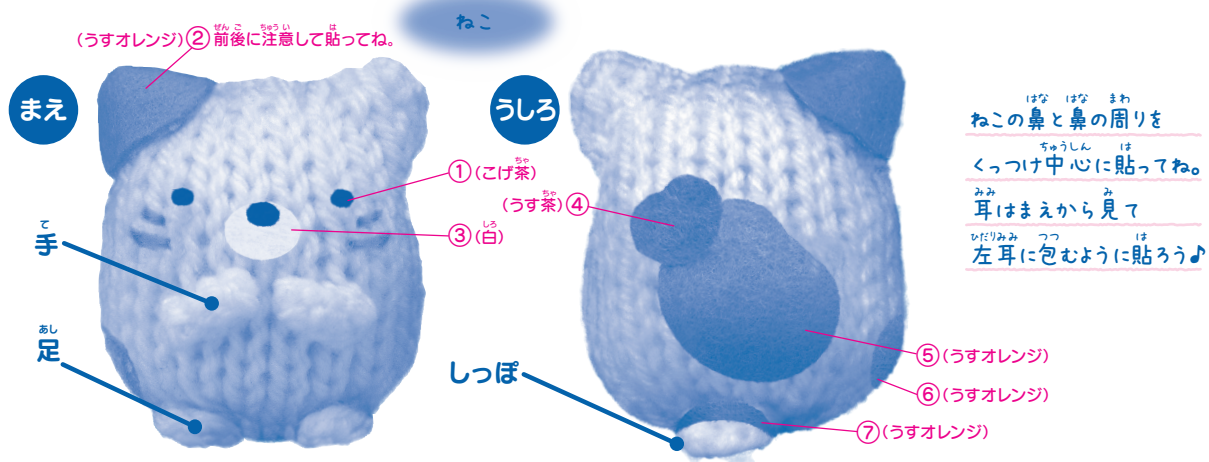
- ① ねこはセット内容の茶色の毛糸を使います。毛糸を半分(約30cm)の長さにします。
ペンギン?は市販の茶色の毛糸を使います。
- ② ねこのひげは、写真を参考にしながら、糸を約5cm残して耳の下、2目のところから①~⑥の順に糸を通して2本のひげにします。(図1) もう片方のひげも同じように縫います。糸は結んで中に入れます。(図2)



- ③ ペンギン?のくちばしは、糸を約5cm残して、頭のとっぺんのしぼり口から入れ、フェルトのくちばしの上を通し頭のしぼり口へ出します。(図3) 糸を結んで中へ入れます。

本体に手・足・しっぽ・フェルトパーツをつけます

- ① それぞれ手・足・しっぽは写真を参考に本体に縫い付けます。縫い付けにはそれぞれの残しておいた長い方の糸を使います。編み目に縫い付けましょう。
- ② フェルトパーツをそれぞれの写真を参考に本体に貼り付けます。縫い付けた手から近いところから貼り付けます。



とんかつとペンギん?の顔や体のパーツは市販のフェルトを使います。フェルトパーツ型紙を紙に写しとって使用してください。(P14)

まえ

て手

あし足

とんかつ

うしろ

(こげ茶)

(ピンク)

くち ちゅうしん は
口を中心に貼ってから

め は じょうじょう
目を貼ると表情が

つくりやすいよ毛糸が

ふわふわなのでしっかり

貼ろう!

まえ

て手

あし足

ペンギん?

うしろ

(こげ茶)

(クリーム)

(白)

お腹

(クリーム)

くちはしを 目印に

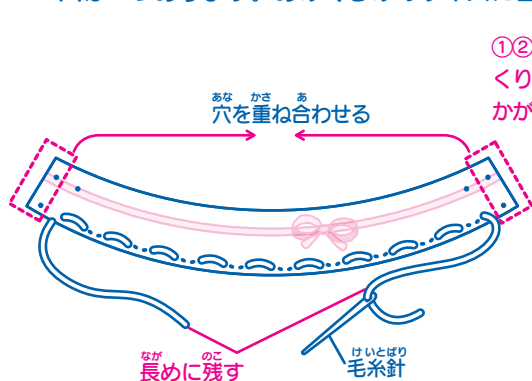
目を貼ろう!

お腹を先に貼ってから

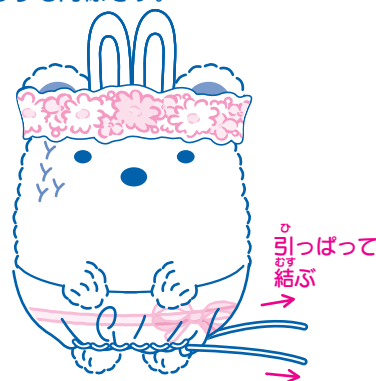
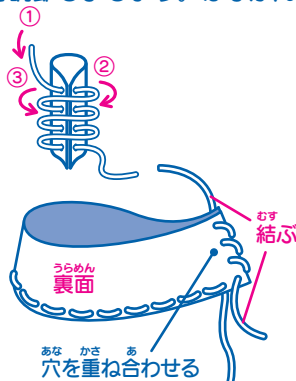
足を貼ってね☆

おきがえの洋服のつけ方

横は穴を重ね合わせて毛糸針で縫います。下の穴はなみ縫いをします。しぼるために少し長めに残します。あみぐるみに着せつけて、洋服の残った毛糸を引っぱりちょうどよいところで結んで玉どめをします。穴は2つあります。あみぐるみのサイズに合わせて調節しましょう。はなかんむりも同様です。



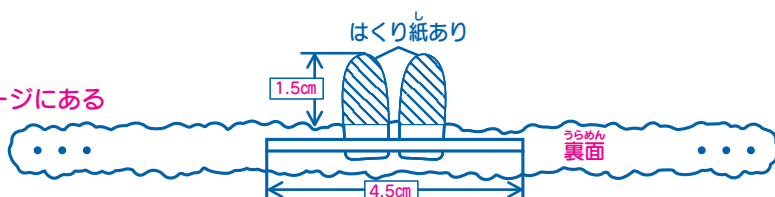
①②③を
くり返して
かがる



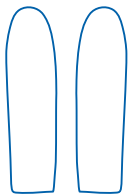
はなかんむりのつくり方

それぞれのキャラクターのうさ耳はパッケージにある写真を参考にしてみよう。

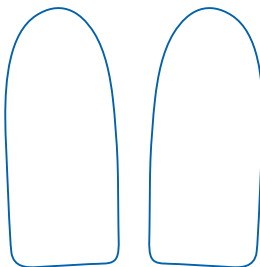
- ① フェルトパーツ⑬⑭⑮⑯⑰を使います。
- ② ピンクのうさ耳フェルトパーツ⑭を切り取り、うさ耳の真ん中に貼り付けます。
とかげの折れ耳にはピンクのうさ耳を貼り付けません。
- ③ ②のうさ耳フェルトパーツ⑬⑮⑯⑰を裏返してはくり紙を上します。うさ耳の先から1.5cmまではくり紙を残して切ります。
- ④ フェルトのパーツ以外の部分を4.5cmに切っておきます。
- ⑤ はなかんむりの柄を下にして、③のピンクのうさ耳を下に向けて中心に重ねます。その上から④で切ったフェルトでうさ耳を抑えてとめます。市販のテープでとめても良いでしょう。



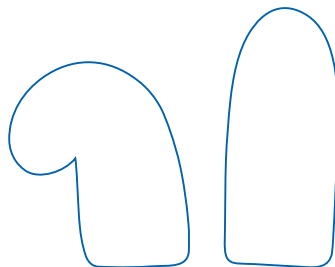
ピンクのうさ耳^{みみ}



ねこ・しろくまのうさ耳^{みみ}



とかげのうさ耳^{みみ}



すみっコぐらし あむあむたまご Q&A

Q.うまく編めない。

A.1ページめの「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはじめてください。

Q.目が飛んでしまいます。

A.毛糸を引っぱらないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪編みの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。

Q.毛糸がテンションや針の中からまっけてしまいシンダーがまわらなくなりました。

A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはずしてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。

Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。

A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。

1ページめの「毛糸をほぐしましょう」を読んでから編みはじめてください。

Q.毛糸の結び目がテンションに引っかかってしまった。

A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページめの「毛糸がなくなりそうになったら、色をかえたいときは…」をよく読んでください。

Q.付属の毛糸以外で編めますか？

A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。

Q.あみぐるみ以外のものはできますか？

A.できます。いろいろアレンジしてみてください。

シンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

●きりかえダイヤルを平編み(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。

●並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けたとき。

家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸:アクリル100%

表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなど異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループお客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

0570-041031

電話受付時間 10~17時 月曜日~金曜日(土日・祝日を除く)

【タカラトミーサポート】**重要** 本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

発売元:株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

© TOMY

MADE IN INDONESIA

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

